



▲ 9月17日の市長就任式

「市の活性化と市民のみなさんのため、知恵と汗を出し、全体の奉仕者として、誇りを持って精一杯努力することを誓います」と結んだ祝辞を藤田和彦副市長から受ける市長



▲ 8月31日に行われた横尾市長への当选証書付与式

多久市選挙管理委員会の田代進委員長は、「2万有余の市民の命と暮らしが市長の双肩にかかっています。4期目の舵取り、難しい問題が山積していますが、これまでの経験を活かされ、市のさらなる発展のため、ご尽力されることを期待しています。しっかり頑張ってください」と激励し、当选証書を手渡しました。それに対し、横尾市長は「市民目線で様々なことを原点から見直し、ベスト以上の努力で市民のみなさまの期待に応えたい」と決意を新たにしました。

1. 自治体経営の視点で、創意工夫を進める市役所づくり

市民の目線に立ち、為すべき改革を推進しつつ生産性の高い行政を追及し、地方分権時代の受け皿ともなりうる、真に情熱・郷土愛と活力のある市役所づくりを高めます。



2. 元気で明るく楽しく学び、子どもたちが輝く教育の創造

個性・才能・可能性に満ちた子どもたちの笑顔が未来に輝くよう、小中一貫教育・学校再編を進めるとともに、知徳体の教育充実、生涯学習充実を行い、子育て環境と教育の充実を図ります。

3. 一人ひとりの笑顔が光る、人々に寄り添う福祉の推進

「健康が全ての基本」の認識に立ち健診を進め、年輩の人やハンデを持つ人が明日への希望と今日の生きがいを感じながら、その人らしく心ゆたかに暮らせる地域社会創造を進めます。高齢者が（明るく・元気に・楽しく）輝ける長寿社会モデルづくりをめざします。



4. 熱意と知恵が活き、未来への希望もてる活性化づくり

企業誘致・定住促進をさらに推進し、熱意と努力で未来を切り開ける経済・産業の実現をめざし、農林業・商工業の振興を図り、地域活力を生み出す取り組みを進めます。

5. 潤いある暮らしの基盤となる美しい環境基盤づくり

道路・河川整備等のインフラづくり、環境にやさしい美しいまちづくりを進めつつ、スローライフのまちづくり、低炭素型社会創造への市民啓発を推進します。美しいまち実現という大きな夢実現への小さな実践運動を推進します。



みなさんとともに、
未来に伸びゆく多久市づくりを
進めてまいります！

